

卒業式 式辞

本格的な春の訪れが、そこかしこで感じられる季節となつてまいりました。本日、ここに令和四年度卒業式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

本学での学びを終え、本日ここに、晴れて卒業を迎えられた皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

全教職員を代表して、お祝い申し上げます。

また、本日ご臨席を賜りましたご家族の皆さま、お子様のご卒業、まことにおめでとうございます。

お子様のご卒業を共に祝えることに感謝申し上げます。

ただいま、大学院七人、大学三四五人、短期大学部一三七人、計四八九人の修了者・卒業生に「卒業証書・学位記」を授与いたしました。この「卒業証書・学位記」は、皆さんがそれぞれの研究科・学部・学科で勉学に励み、本学での学びを終えられた証です。

そして本日は、多くの人に支えられ、見守られて、学生生活を送り、これから、社会人としての歩みが始まるという門出の日でもあります。

さて、皆さんにとって大変貴重な学生生活は、多くの期間で、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、大きな影響を受けることになりました。大学生活においては、オンラインによる授業、課外活動の自粛、そして普段の生活の中でも様々な場面で制限を余儀なくされました。そのような中で、環境の変化に戸惑い・不安を抱えることもあったと思います。

ただ、大きな変化に遭いながらも、その中で皆さんが取られた行動や感じられた思いは、必ずやこれからの人生に活けると信じています。

現代の社会では、今回のような感染症のみならず、天災や紛争、経済や環境に関わる問題を含め、これまで想定してこなかったような未曾有の事象に対し、皆で知恵を出し合って、世界を良い方向へと導いていくことが求められています。

社会的影響によって引き起こされる出来事だけではありません。これからの長い人生の中で様々な出来事があることでしょう。そのような時に、皆さんは、自分のことだけでなく、少し周囲を見渡してみる、そして、その中で最善の選択をしていかなければなりません。その時、その瞬間に、どのようなことを感じるのか、自身の感性を大切に、そして他者に対する思いやりを常に持ち続ける皆さんであってほしいと願っています。

これから社会人としての歩みを進めていかれる中でも、皆さんは、たくさんの人々と出会い、多くのことを学び、誰かと共に何かを生み出していく。それがささやかなものであったとしても、社会を良き方向へいざなう一助であってほしいと思います。そして、人として共感する心、人への慈しみの心、思いやりに溢れた心を大切に、人々と喜びを分かち合う、豊かな人生を歩んでいただきたい、そう願っています。

最後に、卒業していく皆さんに、もう一つお伝えしておきたいことがあります。これから皆さんが歩む長い人生は、無限の可能性を秘めています。ただ、これまでの人生の中で体験したことのないような大きな壁にぶつかることもあるでしょう。

そのような時には、本学での学びや経験を基礎としながら、さらに学び、柔軟な思考を巡らせ、乗り越えていただきたいと思います。

日々の生活の中から、さまざまなことを見て、感じて聴き入って考える、その姿勢が、皆さんの個性、智慧となり、問題を解決し、皆さんの成長に繋がっていくはずです。

ただ、それでもなお、壁を乗り越えれそうにない時は、どうか私たちを訪ねてください。もし皆さんが、これからの人生の中で孤独に苛まれるようなことがあったとしても、決して一人ではないことを思い出してください。

私たちは常にあなた達と共にあります。

それでは、卒業生の皆さんが、これからの長い人生をしっかりと歩まれ、健康で幸せでありますことを、心より念じまして、令和四年度卒業式の式辞とします。

令和五年三月二十三日

兵庫大学・兵庫大学短期大学部
学長 河野 真